

職員団体との意見交換会の議事要旨

(開催日時)

平成25年7月23日(火) 14:29~15:59(90分)

(開催場所)

札幌第1合同庁舎10階共用第3・4会議室

(出席者)

当局側(北海道開発局)

稗田 昭人(開発監理部長)、山崎 弘善(開発監理部次長)、
池下 一文(総務課長)、滝口 敦嗣(人事課長)、大川 渡(会計課長)、
福松 也寸志(職員課長)、小林 力(開発計画課長)、小松 正明(機械課長)、
藤田 望(総務課総務企画官)、村津 敏紀(人事課人事対策官)、
笠井 和宏(総務課長補佐)、外山 洋一(会計課長補佐)、
高野 互(職員課長補佐)、横田 康弘(職員課長補佐)

職員団体側(全北海道開発局労働組合)

藤田 晃久(書記長)、熊倉 輝人(中央執行委員(企画部長))、
服部 雅欣(中央執行委員(組織部長))

(議題)

- (1) 2014年度勤務条件改善に関する要求について
- (2) 宿舎について

(要旨)

<事務費>

(職員団体) 2014年度概算要求に当たっての当局の基本的な考え方を聞きたい。

(当局) 平成26年度の概算要求については、現時点で政府の方針は未定であるが、本省と十分調整を行い適切に対応していきたい。

(職員団体) 業務委託等に必要な事務費の削減により職員の負担が増大している。円滑な業務処理に支障がないよう、事務費の予算確保に向けた努力を求める。

(当局) 平成26年度の工事諸費等予算については、開発建設部の実情を把握した上で、本省との調整を十分行うなど、必要な予算の確保に向け適切に対応していきたい。

<機械・船舶>

(職員団体) 職場では、連絡車が削減され業務に支障を及ぼしているという声が数多くあるが、当局の考え方を聞きたい。

(当局) 連絡車については、業務の内容や地理的条件のほか、走行距離、使用頻度等の実績を勘案して配置しており、必要な台数は確保されていると考えている。今後も事業の推移に応じ、公用車の適正な利用形態に留意しつつ、開発建設部の意見も聞きながら必要な見直し等を行っていく考えである。

(職員団体) 除雪機械をはじめ、事業に必要な機械については、予算の確保に向け最大限の努力し、増強・更新に努めていただきたい。

(当局) 事業に必要な機械については、更新が中心になるが、必要な予算の確保に向け適切に対応していきたい。

<庁舎・宿舎>

(職員団体) 庁舎及び宿舎整備について、改善に向けた予算確保を求める。また、必要な宿舎戸数等の維持・確保に向けては、本省や関係省庁との対応に努めていただきたい。

(当 局) 庁舎・宿舎の整備に必要な予算の確保及び宿舎戸数の維持・確保に向けては、今後とも本省北海道局等関係機関と連携を密にしながら対応していきたい。

<定員>

(職員団体) これまでも要員の不足について主張してきており、要員の確保に向けた努力を強く求める。

(当 局) 北海道開発局の使命を着実に果たせる体制を確保できるよう、必要な定員の確保に向け、本省北海道局と連携をとっていきたい。

(職員団体) 職場では必要な要員が不足しており、非常勤職員の配置を求める声が多い。非常勤職員雇用のための予算確保を求める。

(当 局) 非常勤職員については、これまでも必要な雇用を確保してきており、委託請負化や業務の簡素・効率化等の措置を講じてもなお業務運営上必要な場合には、予算事情を踏まえながら、雇用を検討していく考えである。

※文責は北海道開発局当局(今後修正があり得る)